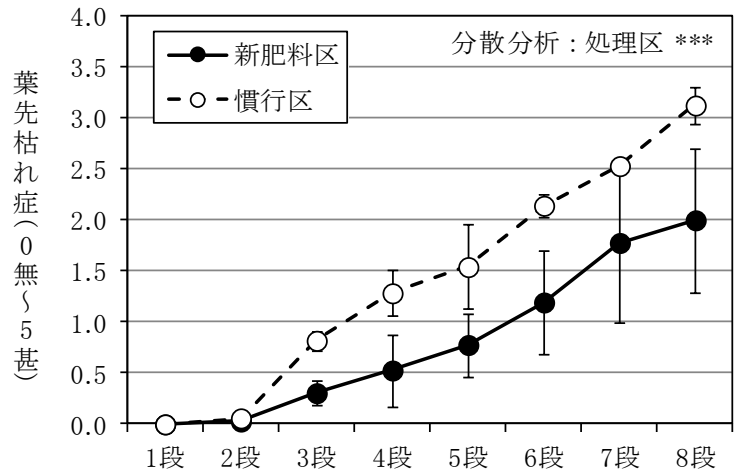


カリウムが不足した有機栽培圃場で 使用できる新肥料の開発



トマトの「葉先枯れ症」



トマトで新肥料を利用すると、
「葉先枯れ症」が軽減する

開発のねらい

化学肥料が使えない有機栽培で、養分が過剰に蓄積した土壌を改善するために、堆肥の施用を止めると、リン酸やカルシウムに比べてカリウムのみが早く減少してしまいます。このため、「おかやま有機無農薬認証制度」で使用できる、カリウム含量の多い肥料を開発しました。

新技術の概要

- カリウム含量が多く、リン酸とカルシウムが少ない新肥料「オール有機K10」をメーカーと共同開発しました。
- 新肥料の原料は、パームアッシュ、フェザーミール、なたね油かすです。
- カリウムが不足したトマト畑で新肥料を利用すると、カリウム欠乏症の「葉先枯れ症」が軽減します。

活用場面

生理障害の軽減に役立ち、生産農家の収益性向上や「おかやま有機無農薬農産物」の生産拡大につながります。